



広報

しんち

号外

特集

48年度 町の予算

48年度一般会計

ヨクナロー予算に決まる

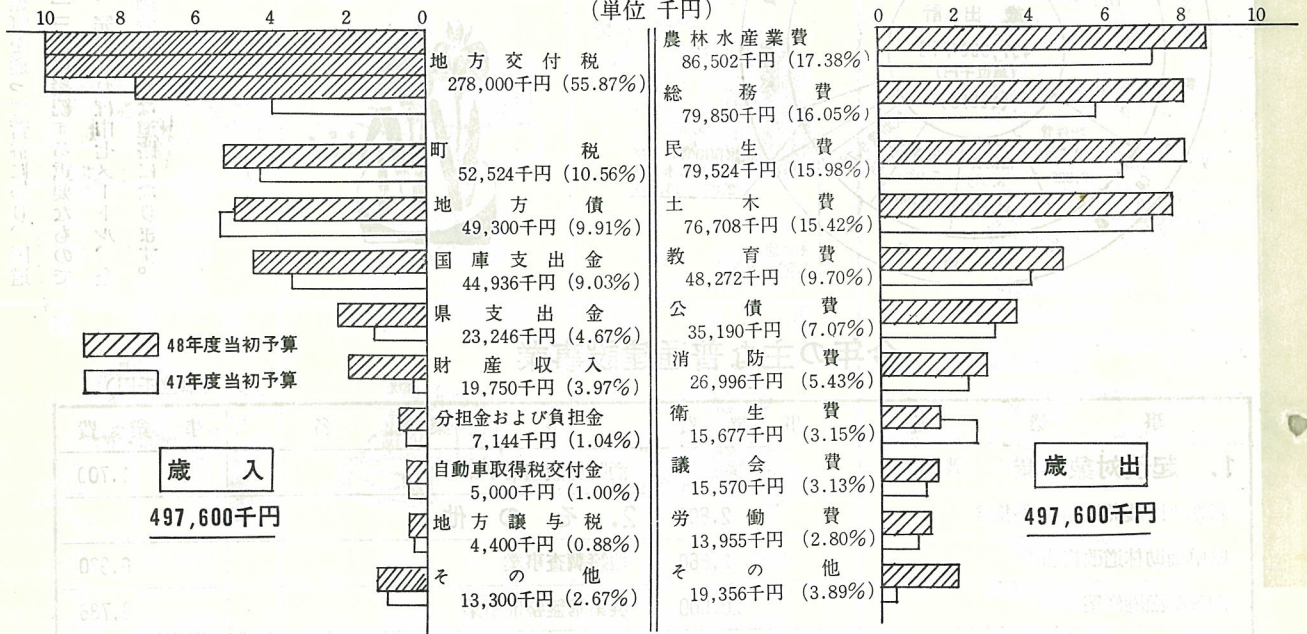
康で、明るく住みよい生活をするための町の、年間計画書ともいべき予算の内容はつぎのとおりです。

町の昭和三十八年度予算が、三月定例町議会で議決され、四月一日からスタートしました。ことしの一般会計当初予算は、四億九千七百六十万円(ヨクナロー)にきまりました。これは前年度に比べて八千七百三十三万六千円(二一・三パーセント)の増となっており、その特徴は、ヨクナロー予算のおおりの福祉の向上をめざし、生活を環境の整備や、産業振興をはかるための基盤整備などに積極的に予算を編成いたしました。

町民みなさんの福祉の向上をめざし、生活を環境の整備や、産業振興をはかるための基盤整備などに積極的に予算を編成いたしました。

一般会計予算

(単位 千円)



予算編成に あたって

私たちの町を明るく住み良い町にするには何といっても私たちの納める税金が基礎です。







ことしの町税は、歳入予算の一〇・五六パーセントにあたる五千二百五十二万四千円を見こんでいます。また私たちが直接、間接に納めている国税(所得税、酒税など)を財源に、まかなえない分を国で交付してくる地方交付税は、歳入予算の五五・八七パーセントにあたる二億七千八百万円を見こんでいます。

このほか、国庫支出金や町債などが一億六千七百七十六千円となっております。

支出については、老人福祉費に総額で二千四百六十一万三千元、児童福祉費に総額で四千五百六十六万、その他の社会福祉費に九百八十五万円で、ことしの町の一般会計総額の一六パーセントにあたる予算を福祉費に組み込んでおり、とくに社会福祉の向上に意欲をそそぎました。

昭和48年度目的別一般会計内訳

(単位千円)

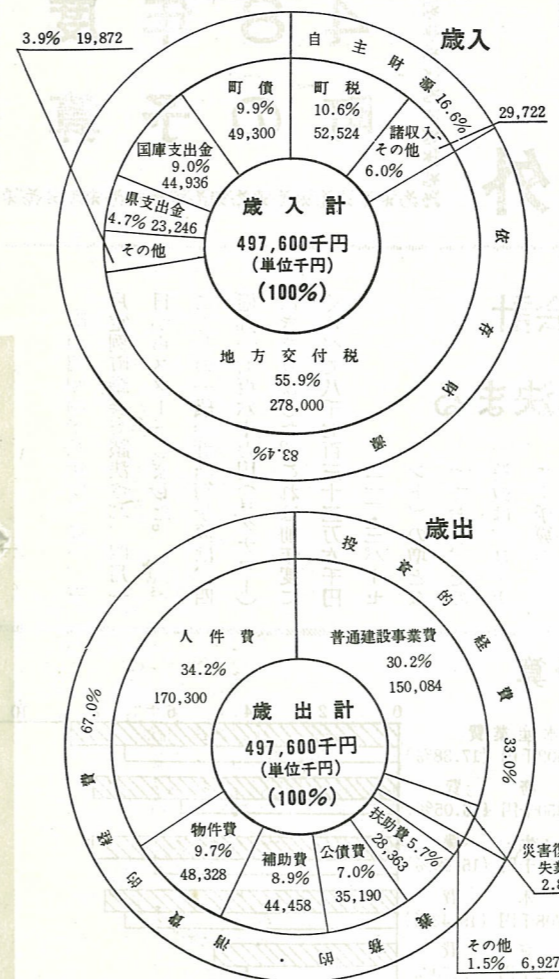
<p>議会費</p>  <p>④7 12,147 ④8 15,570 比率 28.2%</p>	<p>総務費</p>  <p>④7 57,786 ④8 79,850 比率 38.2%</p>	<p>民生費</p>  <p>④7 64,381 ④8 79,524 比率 23.5%</p>
<p>衛生費</p>  <p>④7 24,539 ④8 15,677 比率△36.1%</p>	<p>労働費</p>  <p>④7 9,726 ④8 13,955 比率 43.5%</p>	<p>農林水産業費</p>  <p>④7 71,625 ④8 86,502 比率 20.8%</p>
<p>商工費</p>  <p>④7 1,405 ④8 2,020 比率 43.8%</p>	<p>土木費</p>  <p>④7 72,270 ④8 76,708 比率 6.1%</p>	<p>消防費</p>  <p>④7 23,270 ④8 26,996 比率 16.0%</p>
<p>教育費</p>  <p>④7 39,642 ④8 48,272 比率 21.8%</p>	<p>災害復旧費</p>  <p>④7 1 ④8 1 比率 0</p>	<p>公債費</p>  <p>④7 30,245 ④8 35,190 比率 16.3%</p>
<p>諸支出金</p>  <p>④7 1,543 ④8 15,548 比率997.65%</p>	<p>予備費</p>  <p>④7 1,773 ④8 1,787 比率 0.9%</p>	

予算のおもな内訳

(単位千円)

- 議会費 議員報酬 7,548千円
- 総務費 行政区域長報酬 1,595千円
車庫建築費 1,500千円
- 民生費 民生委員委託料 376千円
家庭奉仕員委託料 706千円
老人医療扶助費 11,884千円
児童扶助費 8,946千円
保育費 31,471千円
母子センター委託料 2,290千円
- 衛生費 結核検診委託料 476千円
成人病検診委託料 123千円
循環器検診委託料 227千円
相馬方部衛生組合事務負担金 1,689千円
相馬方部衛生組合塵芥処理負担金 1,397千円
相馬方部衛生組合し尿処理費負担金 2,071千円
相馬方部衛生組合病院費負担金 4,092千円
- 労働費 失対賃金 6,923千円
大型ダンプ購入費 2,200千円
- 農林水産業費 農業委員報酬 875千円
果樹、蚕業振興主産地形成事業補助金 1,251千円
特産野菜中核地育成事業補助金 510千円
繁殖牛購入費 800千円
繁殖用種豚購入費 200千円
溜池掛入工事費 1,000千円
駒ヶ嶺地区かんがい排水事業 5,948千円
土地改良区補助金 1,947千円
駒ヶ嶺地区県営ほ場整備事業設計調査委託補助金 3,930千円
地籍調査委託料 3,100千円
林道改良事業 2,600千円
第一次漁業構造改善事業補足事業補助金 8,087千円
釣師浜漁港修築事業負担金 20,000千円
- 商工費 新地町商工会補助金 700千円
- 土木費 一級道改良工事費 11,000千円
一級道路用地代 11,300千円
一級道路簡易舗装工事 6,600千円
廃道関連工事(旧国道) 5,000千円
河川改良工事 640千円
住宅建築費 13,115千円
- 消防費 相馬地方広域消防負担金 20,342千円
防火水槽新設費 600千円
小型動力ポンプ購入費 1,100千円
- 教育費 国庫教材購入費 1,451千円
教育員報酬 186千円
石油ストーブ購入費 185千円
校舎屋上整備工事費 800千円
- 公債費 長期債元金 16,796千円
利子 18,394千円
- 諸支出金 公有財産購入費 15,548千円

予算額歳入・歳出(性質別)



今年の主な普通建設事業

(単位千円)

事業名	事業費	事業名	事業費
1. 起債対象事業		消防施設整備事業	1,700
新地々区農免道路整備事業	2,800	2. その他	
県単補助林道改良事業	2,660	地籍調査事業	6,930
釣師浜漁港修築事業	20,000	農業基盤整備事業	8,736
一級町道改良事業	30,600	第1次漁業改善事業補足事業	8,087
町道改良事業(辺地対策事業)	1,800	町営失業対策事業	11,820
県道整備事業負担金	3,000	駒ヶ嶺地区かんがい排水事業(鴻の巣ダム)	5,948
橋梁新設改良事業	1,300	県単補助溜池掛入工事(菖蒲谷地溜池)	1,000
廃道関連町道舗装事業	5,000	果樹養蚕主産地形成事業	1,251
老人憩の家建設事業	10,670		
役場附帯設備工事	2,200		
公営住宅建設事業	16,066		

公営住宅建設事業

昭和四十六年度に愛宕神社北側に第一種十戸を建設し、四十七年度に第一種十戸、第二種住宅十戸といままで三十戸建設し、今年度は第一種十戸を建設することになりました。

おもなしごと あれこれ

住宅団地第一号で、全部で約六十戸の住宅を建設する予定です。

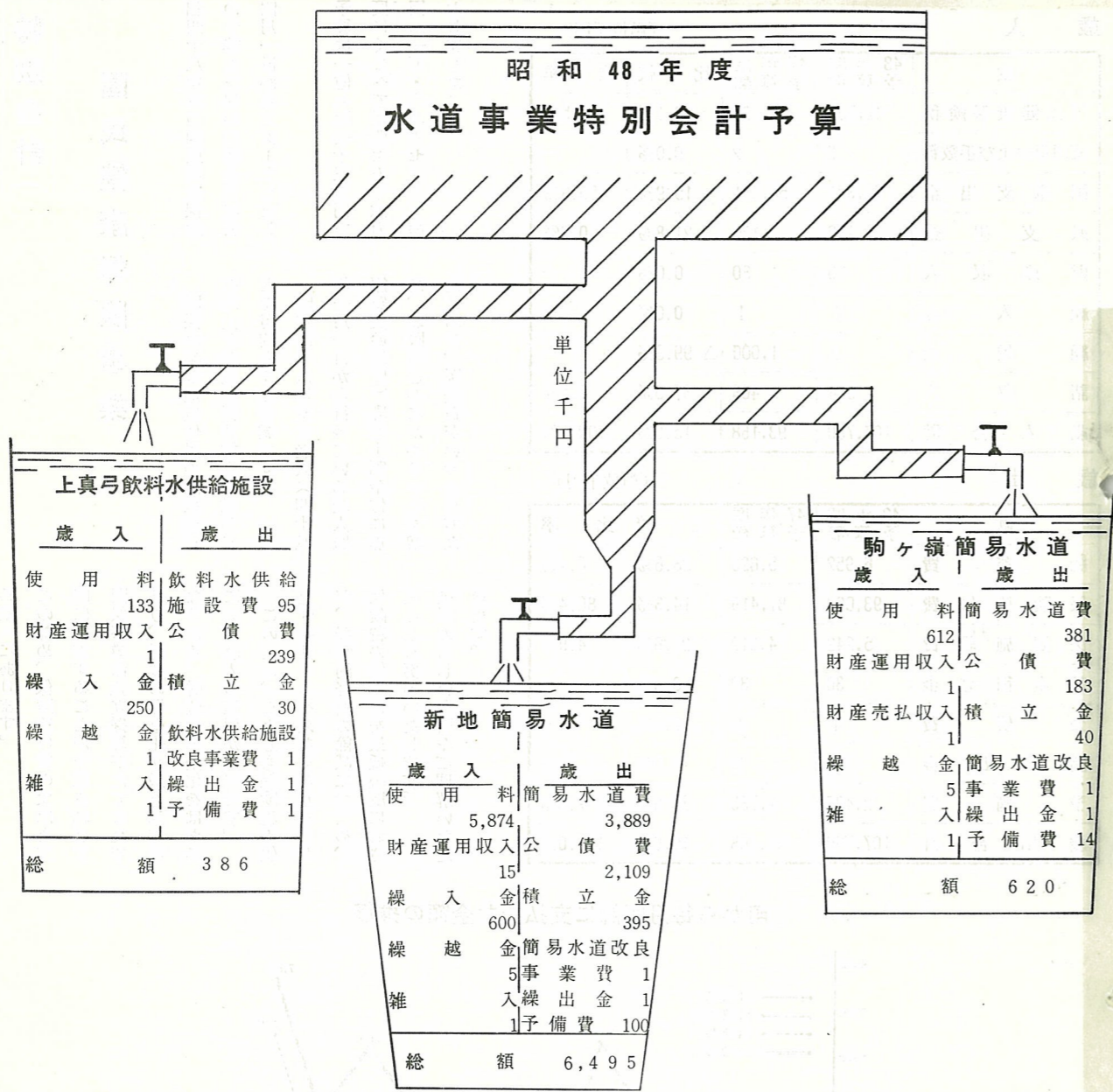
ヶ嶺町を通って菅谷に至り、国道一二三号に接続する重要なものです。完成すれば巾七メートル、全線舗装の快適な道路になります。

町道 菅谷、今神線 改良事業

町道改良事業の一環として昭和四十六年度に引き続き、菅谷今神線の改良事業をおこないます。この道路は、今神から藤崎、駒



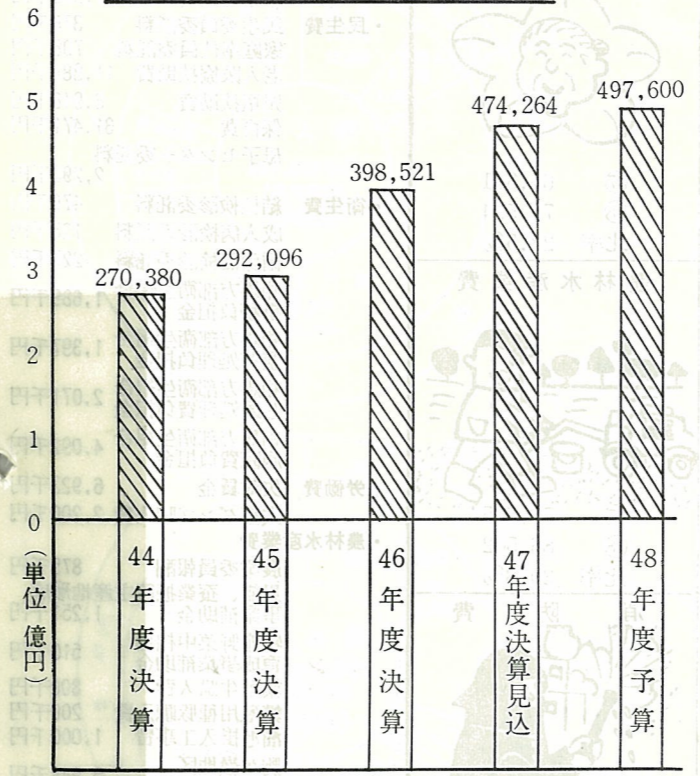
昭和48年度 水道事業特別会計予算



- 給水管の故障は
つぎのところへ
- メーター器より給水栓までの故障、増撤去、移動などがありまして直接つぎの業者へ連絡してください。
- ▽新地町給水工事指定業者
 - ・後藤住設 後藤頭雄
新地町谷地小屋字萩崎二
電話 新地三四
 - ・小野鉄工所 小野栄
新地町小川字同上六の一
電話新地 三八
 - ・目黒鉄工所 目黒藤一
新地町谷地小屋字萩崎三
電話新地 六二六
 - ・山内工業所 山内正
相馬市中村字川沼四八
電話相馬(四)二八二六
 - ・菊地建材店 菊地邦雄
相馬市中村字川沼一八九
電話相馬(四)三一八一
 - ・加藤庄六 加藤喜六
相馬市中村字大町一三
電話相馬(四)三四五四

一般会計

町予算額5年間の動き



ことしの町債内訳

庁舎附帯設備事業	1,300千円
老人憩の家建設事業	4,500千円
農免道路整備事業	1,400千円
林道改良事業	700千円
釣師浜漁港修築事業負担金	12,000千円
重要町道改良舗装事業	16,600千円
町道改良(辺地対策)事業	1,800千円
廃道関連町道舗装事業	1,500千円
橋梁新設改良事業	700千円
県道整備事業負担金	1,500千円
公営住宅建設事業	6,800千円
消防設備整備事業	50千円
合計	49,300千円

昭和48年度会計別予算額 (単位千円)

会計別	48年度当初予算額	47年度当初予算額	増減	増加率%
一般会計	497,600	410,264	87,336	21.28
特別会計(小計)	115,231	99,836	15,395	
新地簡易水道会計	6,495	6,010	485	8.0
駒ヶ嶺簡易水道会計	620	658	△ 38	△ 6.1
真弓飲料水供給施設会計	386	—	386	—
国民健康保険会計	107,730	93,168	14,562	15.62
合計	612,831	510,100	102,731	20.14

町税の内訳

- 町民税 14,315千円
 - 固定資産税 22,077千円
 - 軽自動車税 2,507千円
 - 町たばこ消費税 10,358千円
 - 電気ガス税 3,265千円
 - 釵産税 1千円
 - 木材引取税 1千円
- たばこの町内消費見込数
- 軽自動車 13,978,800本
 - 原動機付自転車 1,304台
 - 農耕用 594台
 - 軽二輪 32台
 - 軽四輪 333台
 - 自動二輪 26台

歳入歳出予算明細書

款	48年度 予算額	47年度 予算額	比較	比率
国民健康保険税	42,599	36,068	18.1%	39.5%
使用料および手数料	2	2	0.0%	—
国庫支出金	64,381	55,531	15.9%	59.8%
県支出金	162	133	21.8%	0.2%
財産収入	30	30	0.0%	—
繰入金	1	1	0.0%	—
繰越金	1	1,000	△ 99.9%	—
諸収入	554	403	37.5%	0.5%
歳入合計	107,730	93,168	15.6%	100.0%

款	48年度 予算額	47年度 予算額	比較	比率
総務費	6,952	5,623	23.6%	6.4%
保険給付費	93,063	81,419	14.3%	86.4%
保健施設費	5,242	4,312	21.6%	4.9%
基金積立金	30	30	0.0%	—
公債費	1	1	0.0%	—
諸支出金	3	3	0.0%	—
予備費	2,437	1,780	36.9%	2.3%
歳出合計	107,730	93,168	15.6%	100.0%

特別会計

国民健康保険事業

昭和四十八年度の国民健康保険事業の予算も三月の町議会で決まり、四月一日からスタートしました。

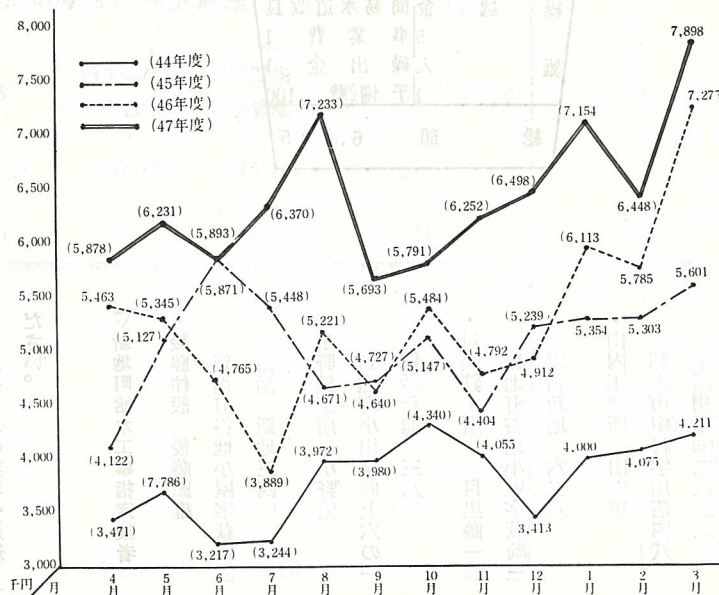
総予算は一億七百七十三万円で昨年度にくらべて千四百五十六万二千円(一五・六パーセント)の増になりました。

国保事業は地域住民の医療福祉の向上と健康の保持増進を図ることを目的とする事業です。

昭和四十八年度は老人(四十八年一月一日から行っている老人医療費支給制度)乳児十割給付に加え、お医者さんにかかるかたも増えており、医療費がいつそう増え

る傾向にあります。このため、保険給付費の支出も大中に増加することが予想されます。国保事業は独立採算がたてまえであり、財政の健全化が最も基本になります。財政の健全化をはかるには、歳入の確保が大事です。このため、ことしも保険税の値上げをせざるをえなくなりましたが、経常的経費の節減につとめ、保険税の値上げを最低限度におさえるよう努力いたします。国保の苦しい台所をご理解いただきます。

町から毎月医師に支払った金額の推移



清水町の誌報

昭和四十八年